

令和5年度ふるさと浦安作品展中学校の部特別賞作品データベース

市長賞 「浦安の方言かるた」 中学校2年生

【本人コメント】

学校で浦安の方言があることを知りました。そこで、今ではあまり聞かれない方言を調べました。集めた言葉を使って、昔の浦安の生活や特徴をイメージして川柳を作り、わかりやすい絵にしました。この方言かるたを通して、浦安に親しみを持ったり、興味がわいたりしてほしいと思います。

【評価コメント】

現在の生活とつなげながら、楽しく浦安の方言を伝えてくれる素敵な作品です。読み札の五七五、取り札のイラストがよく工夫され、親しみやすく、浦安らしさが感じられます。このかるたを使い笑顔で遊ぶ子どもたちの姿が浮かんできます。このまま、各学校で副教材として活用したい作品です。

【作品発表会原稿】

私は、浦安の方言について調べました。なぜ私が、浦安の方言について調べたかという、学校で配られた手紙に、浦安の方言が書かれていて、「浦安にも方言があったのか」と印象に残ったからです。また、この作品を通して、たくさんの人に方言を伝え、我々がふるさと浦安に対する親しみをさらに深めてほしいという思いから作品作りを始めました。この作品を作るのに苦労したところは、川柳づくりです。浦安の方言について書いてある本を図書館で借りて、その中から印象深かった単語を選抜し、その単語を使って川柳を作りました。その時に現代の浦安の生活を方言で表現したり、昔の浦安の生活をイメージして川柳を作ったりするのに苦労しました。ほかには、作った川柳に合わせて絵札を作るのにも苦労しました。方言を調べてみると、漁業、自然、天候に関する言葉が多いことがわかりました。また、言葉が省略、短縮されていたり、リズムが良く、言いやすい言葉が多かったりすることもわかりました。このことから、考えられたこととして、浦安は昔からの漁師の町で、漁業は自然や天候との勝負なので、早めの作業が必要なため、テンポの良い、短い言葉が使われやすかったのではないかと考えました。この作品作りを通して、今ではあまり聞かれない方言を調べて、おもしろいフレーズがあり、驚きました。そして、浦安についてさらに興味が湧きました。国語の授業などで、みんなで方言を調べ、川柳を作り、楽しみながら浦安について詳しく学んでみたいと思いました。このかるたを使って、様々な人と交流しながら、浦安の良さを伝えていきたいです。



【本人コメント】

題名には「ざんねんな浦安」と書きつつも、中身は浦安の歴史や豆知識、うらやすのクイズなど、浦安愛があふれ出る作品となっています！浦安の3択クイズでは、ただ答えを書くのではなく一言コメントをつけたりしました。そして、表紙や中身、裏表紙などは本当の本のように仕上げました。ぜひ読んでみてください！

【評価コメント】

事典やクイズを通して、楽しく浦安の再発見ができる素敵な冊子で、子どもでも興味を持って読み進められますね。マイナスのイメージとなるタイトルと浦安のキャラクターがレイアウトされた表紙。惹きつけられ、読んでみると、より作者の浦安愛を感じさせる素晴らしい演出です。イラストやクイズも効果的に表現されています。

【作品発表会原稿】

私は、浦安の歴史や伝統、町について調べました。なぜ私がそれらについて調べたかという、普段何気なく過ごしている私たちの市、浦安が昔はどのような街で、どんな歴史があり、今の浦安につながったのか気になったからです。この作品を作るのに苦労したところは、3つあります。1つ目は、内容を明るくしたことです。題名に「ざんねんな」とあるように、題名を見ただけではマイナスなイメージを持つことが多いと感じた私は、本の内容はもちろん、色や絵を工夫し、題名のマイナスなイメージを感じさせないくらい明るく楽しく、そして面白い作品になるようにしました。二つ目は本当の図鑑のような作品にしたところです。表紙には作者や書店の名前まで書いたり、裏表紙にはバーコードや、本の価格、本の番号を書いたりもしました。本の中身にも、目次やあとがき、ページ数などいろいろな工夫をしました。細かいところまで見つけて、本の内容だけでなく別のところでも楽しんでもらえたら嬉しいです。三つめは、絵をたくさん使ったことです。文字だけでなく、絵をたくさん描くことで幼い子どもでも、文字が読みにくい方でも絵を通じて浦安の魅力が伝わるのではと考えたからです。絵を描くことはそこまで得意なことではありましたが、積極的に取り入れ、幅広い方に届けられればと思います、工夫しました。私がこの作品を通して伝えたいことは、浦安の魅力です。浦安といえばだいたいの人はディズニーを思い浮かべるかと思います。私も正直最初はそう思っていました。ですが、ホームページや図書館に行き、浦安のことについて調べていくうちに、浦安ならではの歴史や伝統など、たくさんの魅力を知ることができました。私のように浦安についてあまり深く知らない方たちに、私の作品を通してたくさんの浦安の魅力が伝えられればいいと思います。



教育長賞 『元町魂「親から子へ」「子から孫へ」』 中学校2年生

【本人コメント】

元町で生まれ、元町で育った私が感じる、活気のある元町の良さ、元町の人々の温かさをここにまとめました。「元町っていいな！」と、これからの元町も、今や昔と変わらない温かい場所であってほしいです。

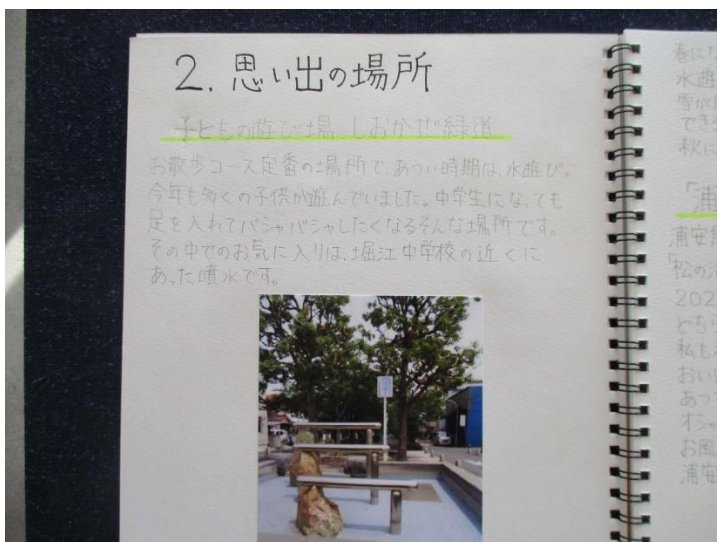
「親から子」へ「子から孫」へ つないできた「元町の心」が大きな輪になったらいいなとおもいます。

【評価コメント】

すべて自分の言葉で表現されており、その一つ一つから地域への親しみ、愛情がひしひしと感じられる素敵な作品です。特に「だって、私、元町だもん！堀江だもん」という言葉に強い思いが込められていました。写真はどれも構図がよく、効果的に使われており、“伝えていきたい大切なもの”が十分に伝わってきます。

【作品発表会原稿】

私は元町で生まれ元町で育ちました。母も祖父母も元町生まれの元町育ちで“じっこ”の人間です。そんな私が感じる元町の良さをまとめました。きっかけは毎年行っていた浦安市の盆踊り大会です。「親から子へ 子から孫へ つなごう踊りの輪」～元町から中町へ 中町から新町へ つなごう浦安の心～いつもなら気にならなかったそのキャッチフレーズは、私の心に刺さりました。コロナになり当たり前のことが当たり前にできない日常が続きました。学校行事もそうでしたが、祭りが大好きな地元の人にとっては楽しみが減る3年間であり、開催されたどの盆踊り会場でも、「今年はできてよかったね！」「来年は三社だね！」そう言った声が沢山聞こえ、小さい子達からおじいちゃん おばあちゃん達皆がとても楽しそうにしている姿や、知り合いのおじさん おばさん達に沢山話しかけてもらう事で、ふと気づきました。「親から子」へ「子から孫」へ。祖父母から母へ、母から私へ、、、あれ？私も受け継いでいるな。そう感じたので、これをテーマにすることにしました。この作品では、私が経験し感じた事を中心に、活気ある元町の良さ、元町の象徴であった今はない思い出の場所、元町の源「祭り」について、そして、元町の人々の熱さや人の温かさをまとめました。どうしたらそれらの良さを伝えられるか、どうまとめてどう表現するのが正解なのか、そこが一番難しかったです。祖父母、母に話を聞き、協力を得ながら、そして思い出話に盛り上がりながらこの作品を仕上げる事ができました。小さな頃から祖父母から教わってきた事、私自身が体験した事や感じた事を素直に書く事で、活気ある元町、そして元町の人達の心の温かさや良さが沢山伝わればいいなと思います。「元町ってやっぱりいいな！」と、これからの元町も、今も昔と変わらない活気ある温かい場所であって欲しいと願いをこめて。「親から子」へ「子から孫」へつないでいきたい「元町の心」が、もっともっと大きな輪になり、沢山の笑顔がうまれますように！



教育長賞 「浦安のSDGsについて」 中学校2年生

【本人コメント】

浦安のSDGsを調べると「みんなでつくり つなげる 環境都市うらやす」の実現の為にゼロカーボンシティ、脱炭素社会など市民、事業者、市の役割を明確に、取り組まれていました。この活動を研究し、みんなに知ってもらいたい、そして自分の活動で貢献したいです。

【評価コメント】

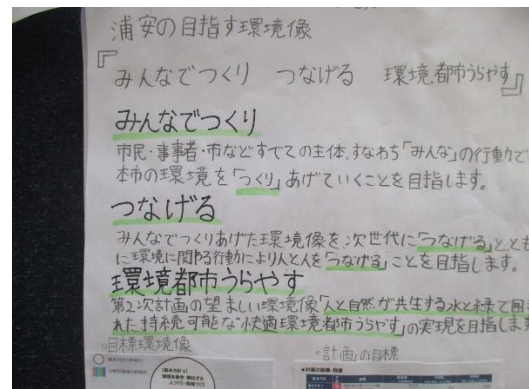
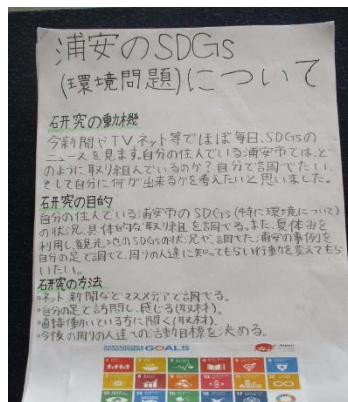
今話題のSDGsの視点から浦安市を見て、取材や体験から現状の取組や今後の展望についてまとめた力作です。

電話取材では、質問内容を精査し、現状と課題について効果的に調査し、まとめることができましたね。

調査結果の考察から、「継続して調べる」「伝えていく」「行動を変える」という視点で自分自身の取組をまとめており、情熱が感じられました。

【作品発表会原稿】

浦安市のSDGsの取り組みについて調べました。なぜ調べたかということ、今これだけ学校で学んだり、新聞やニュースになっているSDGsに興味を持ち、自分の住む浦安市の状況を知りたかったからです。1番こだわったことは、浦安市のホームページや資料などで、計画や取り組み状況は理解できましたが、実際に市役所で働いている環境保全課の方に直接取材させていただいたことです。そこで丁寧に、今の浦安市の環境問題の課題や、推進している活動など、多くのことを教えていただきました。本当にありがとうございました。その取材で教えていただいた、SDGsの取り組みの一例である三番瀬環境観察館で勉強したり、浦安市に本社がある、SDGs岩佐賞を受賞したwash plus社の、洗剤を使わないコインランドリーを利用したりしてみました。自分の目で、市が推進されている素晴らしい活動に触れたことが実感でき、感動しました。改めて内容について理解が深まりました。この経験がきっかけで、旅行先の海ほたるでSDGsの取り組みを気にしたり、所属しているサッカーチームの仲間とごみ拾いのボランティアに参加したりと、自分の意識が大きく変わりました。私がこの作品で一番伝えたいことは、「みんなでつくり みんなでつなげる 環境都市うらやす」の実現のため、浦安市がゼロカーボンシティや、脱炭素社会の実現の取り組みを行っていますが、それだけではダメだということです！実現のためには、浦安市、事業者、そして市民の私たちが、取り組みの内容を把握し、一人一人の意識を変えていくことが必要です。だから、私はふるさと浦安作品展を通じて、より多くの方に浦安市の取り組みを知っていただくきっかけになりたい！私の研究を見て、少しでも市民の皆さんが現状を自分事としてとらえ、私たち自身で実践していきたいと強く思います。最後に、この浦安市の環境基本計画は、2030年までの中長期的な取り組みです！だからこそ私はこれから毎年、市の活動、周りの意識、事業者の取り組み事例などがどのように変化したか、進化したかなどを、継続的に調べていきたいと思っています。そして、私の学校の仲間や周りの人たちに活動を伝え、私自身の行動で周りの人の意識を高められる人間になり、ぜひ浦安市長から、浦安市SDGsアンバサダーに指名していただけるよう頑張ることを宣言します！



優秀賞 「浦安生き物調査人」 中学校2年生

【本人コメント】

自分が見た浦安に生息している生き物についてを調べてまとめた小図鑑です。読んだ皆さんもぜひ冊子内の地図に書かれた生き物の生息地を訪れて、その生き物たちを守るために自分ができていることを考えてみてください。そして、浦安をより良く自然豊かな所にしていきましょう。

【評価コメント】

生き物調査人の生き物への愛情や生き物が豊かにくらせる環境への思いが強く感じられる素敵な作品です。生き物についての知識が豊富で生態と生息地を関連付けてまとめています。写真も効果的で特徴が分かりやすいです。文章も自分の言葉で表現され、言葉選びにもユーモアとセンスが感じられ、楽しく読み進めることができました。

優秀賞 「浦安の野鳥」 中学校2年生

【本人コメント】

私は浦安にそう長く住んでいないため、身近なことから知っていききたいと思い、学校に近い川と好きな鳥類をテーマに選びました。作品作りを経て、鳥は調べれば調べるほど好きになりましたが、それと同時に環境問題や害鳥についても関心が湧くようになりました。これからは身近な問題に真正面から向き合っていきたいと思います。

【評価コメント】

それぞれの野鳥の快適な環境という視点を持ち、時間をかけて調査し、まとめた素晴らしい研究です。設定した条件と鳥の行動を細かく記録し、その結果からの考察も見事です。写真を生かして、ていねいにまとめた「浦安の野鳥」の冊子は、手作り感があり、とても好感が持てます。

優秀賞 「水とともに生きるまち」 中学校2年生

【本人コメント】

僕は、浦安市で14年間暮らしてきました。しかし、大きな水害を肌で実感したことがありません。もしも、限界を超える雨が降ったら、浦安市はどうになってしまうのか怖くなりました。これをきっかけに浦安市の水害の歴史や取り組みについて調べてみようと思いました。

【評価コメント】

かつて何度も大きな水害に見舞われた浦安の水害対策についてよく調べ、工夫してまとめています。

「ながす」「ためる」「ふせぐ」の観点ごとに、実地調査をもとに対策がまとめられていて、とても分かりやすいです。この研究により、新たな発見や気づきがあったようで、さらに防災への意識の高まりも感じられました。

優秀賞 「浦安の樹木」 中学校2年生

【本人コメント】

私は今まであまり植物や樹木に興味がありませんでした。しかし、この作品を制作していくうちにこの樹木の名前は何だろう、この植物にはどんな特徴があるのだろうという植物・樹木に対する興味が出てきました。この作品を見てくださった方に浦安市の植物や樹木について知ってもらい少しでも関心を持って頂けたら嬉しいです。

【評価コメント】

18か所の公園をまわり、そこに生きる樹木について詳しく調べています。学校での学習の発展としてこの研究に取り組んでおり、意欲が感じられました。結果の考察が、計画都市としての浦安につながる内容となっており、素晴らしいです。それぞれの樹木の特徴がよく分かる素敵な作品に仕上がっています。